

## 福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

### そうてつ保育園 GENKIDS 緑園都市

横浜市泉区緑園二丁目 1 番地 3 プラードビル 2 階

運営主体: 相鉄アメニティライフ株式会社

|                    |             |
|--------------------|-------------|
| 実施概要               | 1 ページ       |
| 総合評価 (評価結果についての講評) | 2 ~ 4 ページ   |
| 評価領域ごとの特記事項        | 5 ~ 7 ページ   |
| 分類別評価結果            | 8 ~ 18 ページ  |
| 利用者家族アンケート分析・集計結果  | 19 ~ 26 ページ |
| 利用者本人調査分析          | 27 ~ 29 ページ |
| 事業者コメント            | 30 ページ      |

2009 年 3 月 24 日公表

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

## 実施概要

|        |                      |               |
|--------|----------------------|---------------|
| 事業所名   | そうてつ保育園 GENKIDS 緑園都市 |               |
| 報告書作成日 | 2009年3月24日           | 評価に要した期間 5ヶ月間 |
| 評価機関   | 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま |               |

## 評価方法

|   |  |
|---|--|
| <p>1、自己評価</p> <p>実施期間:2008年10月24日～11月28日</p>                    | <p>年度始めに第三者評価を受けることを説明した。<br/>全員が個々に自己評価票に記入した。<br/>各クラス、調理、パート、施設長・主任で一つにまとめ、それを各クラスリーダー、施設長、主任で協議し、合意してまとめた。</p>   |
| <p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:2008年11月4日～11月18日</p>             | <p>全園児の保護者（59家族）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配布した。<br/>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>   |
| <p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 2008年12月15日<br/>第2日 2008年12月18日</p>  | <p>[第1日]<br/>午前：各クラスで保育観察。<br/>昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br/>午後：書類調査。施設長・主任・本部係長に面接調査。</p> <p>[第2日]<br/>午前：朝は登園の様子を観察。その後、各クラスで保育観察。<br/>昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。<br/>午後：各クラス担任保育士6名、フリー保育士1名、栄養士1名、非常勤職員1名、主任に個別に面接調査。<br/>その後、施設長・主任・本部課長・係長に面接調査。<br/>最後に意見交換を行い、終了。</p> |
| <p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第1日 2008年12月15日<br/>第2日 2008年12月18日</p> | <p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施した。園外での活動も観察。<br/>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>  |

## 総合評価（評価結果についての講評）

### 【施設の概要】

そうてつ保育園 GENKIDS 緑園都市は、相鉄いずみ野線緑園都市駅から、歩いて2分、駅前ビルの2階にあります。周囲は、落ち着いた住宅街となっています。

当園は2001年4月に相鉄アメニティライフ株式会社がまちづくりの一環として開設した横浜保育室を前身とし、2004年11月に認可保育園となりました。定員は70名(産休明け～5歳児)、平日の開園時間は7時から21時、土曜日は7時から18時です。法人は相鉄沿線に系列園3園（認可保育園2園、横浜保育室1園）の他、学童保育施設を4箇所運営しています。

保育理念として「GENKIDSは、0～5歳の乳幼児は生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期であることを認識したうえで、お子様が安全に・快適に・そして元気に過ごせる環境を提供できるよう責任を持って努めるとともに、お母様、お父様が安心して働ける環境作りをサポートします。家庭内保育など多様な保育ニーズにきめ細やかに対応するサービスを提供し、また園外保育の実施などにより、地域の暮らしの支援・保育ネットワークの形成に努めます。」基本方針として「GENKIDSは、“今日”という毎日の暮らしに、『生活の型』を通して喜びと安心感を与えることが、子どもたちが“未来”に生きることにつながると考えています。子どもたちが最良の今日を生き、そして望ましい未来を作り出す力を培えるよう、GENKIDSが保育を通じてサポートします。」を掲げています。

### 高く評価できる点

#### 1、子どもたちは落ち着いて、元気に毎日を過ごしています

当園は保育園を「家庭の延長」と位置づけ、子どもたちが安心して毎日を過ごせるような環境作りを心がけています。保育士は常に子どもたちにとって何が出来るかを考えながら、子どもたちに寄り添い、見守り、必要な時は支援しています。このような中、子どもたちは安心し、「家庭」にいるかのように落ち着いて毎日を過ごしています。

乳児はおやつ、遊び、食事など活動の節目ごとに、保育士からたくさん歌をうたってもらったり、絵本を読んでもらい、落ち着いて次の活動に移っています。また、遊んでいる時や食事の時にもたくさん声をかけてもらい、保育士との間に信頼関係が感じられます。

外遊びで五感を刺激するという保育方針から子どもたちは、雨でない限り午前、午後と1日2回散歩に出かけています。子どもたちは公園で友だちとかけっこや鬼ごっこをして遊んだり、砂遊びをしたり、木の実を拾ったり、探検したりと年齢にふさわしい自分のしたいことを見つけて遊びこんでいます。乳児でも雨後の水溜りや泥んこ遊びなど、自分から遊びの場を見つけることができます。また、室内においても子どもたちは自分の“したい遊び”を見つけることができ、落ち着いて遊びこんでいます。

保育士は一斉活動の場においては、約束事やルールを乳児の時から教え、次第に自分たちだけでもルールを話し合い、みんなで一緒に遊び・生活ができるように導いています。このような働きかけの結果、1歳児でも「いや」「やめて」「ごめん」など言葉で自分の気持ちを表すことができます。

保育方針の「あたたかい保育園をめざします」が実践されています。

#### 2、保育士は子どもの気持ちを大切に、連携して保育に励んでいます

保育士は「子どもが主」の認識を持ち、子どもの気持ちに沿った保育を心がけています。そのために、保育士は安全面だけでなく、自分たちで選び、行動できるように友だちとのやり取りや遊びの様子をそばで見守り、

必要な時は支援しています。また、子どもたちに穏やかな言葉と優しい笑顔、平等な接し方で信頼関係を築き、さらに保育士自身の行動や言葉遣いも子どもたちの見本になるよう心がけています。

毎朝のミーティングでは各クラス担任から、個々の子どもについて体調や家庭からの連絡事項などが詳細に報告され、皆で情報を共有しています。ミーティングの情報はクラス担任から非常勤職員に確実に伝えられ、一貫した保育が行われるようにしています。保育中も子どもに変化があった時や保育士が持ち場を移動する時には、声を掛け合ってコミュニケーションをとり、連携して保育に当たっています。

### 3、園は保育方針の実践に向け、保護者と「共に育てる」努力をしています

園では「子どもが主」という保育方針の実践のためには家庭の理解が不可欠と考えています。そのため、「保護者とのコミュニケーションを大切にします」を保育方針に掲げ、保護者の理解を得るために努力しています。

今年度は保護者からの要望もあり、園の保育を保護者に経験してもらう機会として「保育参加」を行いました。保護者アンケートにおいても「保育の実際を見ることができた」「とても有意義な試みだった」という意見が見られるように、保護者が園の取り組みを理解する良い機会となりました。

また、運営委員会に各クラス代表が参加するだけでなく、ご意見箱や懇談会、個人面談などで保護者とコミュニケーションを取るよう努めています。特に日々の送り迎え時には保育士は笑顔で保護者にあいさつし、声をかけやすい雰囲気を作るよう心がけています。また、今年度からは、「保育参加」や「クリスマス会」の後にもアンケートを実施し、保護者の意見・要望を聞くようにしました。このように保育方針の実践に向け、「共に育てる」という園の姿勢について保護者の理解を得るために努力している園の姿勢は評価できます。

このような園の努力にもかかわらず、保護者アンケートには、「意見を聞かれたことがない」「そのような仕組みもない」など園の取り組みについて周知が不十分と思われる意見が一部見られました。運営委員会が出た要望、意見とそれについての園の回答を公表するなど、保護者に対し、さらなる働きかけを行うことにより、保護者と「共に育てる」体制が確立することを期待します。

#### 独自に取り組んでいる点

「働きやすく子育てしやすい企業」を目指し、体制づくりをしています

法人は保育士が働きやすい環境を整え、人材の流出を防ぐことが、将来の人材育成につながると考えています。そのため、有給休暇などの福利厚生だけでなく、育児のために勤務時間が2時間短縮される短時間制度や沿線に保育士のための託児所を設けるなど、子育てのための体制も整えています。

これらの制度を実際に利用して、子育てしながら仕事を続けている保育士もあり、その保育士の経験が法人の中で蓄積されています。また、制度を利用し子育てしながら仕事を頑張っている先輩の姿を見ることは、これから結婚、出産を考えている保育士にとっての励みとなっています。

このような体制づくりが評価され、法人は横浜市の「よこはまグッドバランス賞～働きやすく子育てしやすい企業～」を受賞しました。

#### 改善や工夫が望まれる点

##### 1、地域との連携が望まれます

園も開園から7年経過し、地域の住民から存在を認められるようになっていきます。散歩ではいろいろな住民から声をかけてもらっています。また、園庭代わりに地域の公園を利用したり、地域住民からおもちゃや絵本をプレゼントされたりと地域に支えられています。

子どもたちは、散歩の際に近所の人たちに手を振るなどごく自然に交わっていますが、まだ園として地域との積極的な交流は行っていません。保育士も子どもたちの安全に目が向き、地域にまでまだ目を向けるゆ

とりがないように見受けられます。子どもたちはもちろん、保育士も地域とのかかわりを通して、多くのことを学び成長していきます。地域の施設として、地域と共に生きていくためにも、園の行事に地域の人を招くなど、地域と積極的に関わっていくことが望まれます。

また、保育園には地域の施設として、地域の子育て支援という役割も期待されています。一時保育は行っていますが、人数的にゆとりがないため受け入れられないのが現状です。施設や園庭が狭くスペース的にゆとりがなくとも、交流保育として一緒に散歩に行ったり、公園で一緒に遊ぶ機会を設けたり、インターネットの子育て相談を充実させるなどの工夫をして、保育園としての専門性を活かした地域支援を行うことを期待します。

## 2、計画の明文化が望まれます

園では、言葉によるコミュニケーションを大切にしています。そのため、計画などは個別に話し合わせ、文書化されていないものがあります。

たとえば、個別の計画においては、0、1歳児については個別計画がありますが、2歳児以上に関しては、個別に課題がある場合でも、経過記録、成長記録のみで、計画が策定されていません。さまざまな課題を抱えた子どもについては、年齢が上がり保育士の交替などがあっても、継続して一貫した保育をしていくことが必要です。ミーティングやスタッフ会議で保育のやり方や目標について話し合い職員間で共有するだけでなく、計画をたてて課題を明確にし、長期的な視点に立って支援をしていくことが望まれます。

また、人材育成計画も個人の経験等に応じた役割や期待水準について口頭で伝えていますが、明文化はしていません。将来の方向性を具体的に示すことは保育士のモチベーションを高め、人材の流出を防ぐことにもつながります。

職員間で話し合いを重ね、考えを共有することも大切ですが、計画などを文書化することにより、園としての姿勢を明らかにするとともに、見直し・改善をスムーズに行うことが出来ます。明文化により、保育や運営の質が維持され、更なる向上につながることを期待します。

## 評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

### 1、人権の尊重

- ◇ 基本方針として「GENKIDSは、今日」という毎日の暮らしに『生活の型』を通して喜びと安心感を与えることが、子どもたちが“未来”に生きることにつながると考えています。子どもたちが最良の今日を生き、そして望ましい未来を作り出す力を培えるよう、GENKIDSは保育を通じてサポートします」を掲げています。
- ◇ 保育士は、保育園は家庭の延長であり「子どもたちのために何が出来るか」を念頭において保育にあたっています。「子どもが主」の認識を常に持ち、子どもの気持ちにそった保育を心がけ、実践しています。
- ◇ 法人として個人情報保護方針を作り、全職員に配布しています。なお、園児名の記載がある書類の持ち出しは、施設長に申告が必要な仕組みになっています。
- ◇ 保育士は虐待についての外部研修を受講し、さらにそれを基に園内研修を実施して、全職員で家庭支援を含めての勉強をしています。

### 2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 保育園の屋内・外とも、清掃マニュアルに基づき清掃され、清潔に保たれています。空気清浄機、窓の開閉による換気などで、通風・換気等が確保されるとともに、エアコン、床暖房で施設内の温度の管理が適切に行われています。
- ◇ 乳児の保育室には子どもが入り込めるようなスペースやコーナーはありませんが、遊びの時にはマットや机などを用いて仕切り、小集団保育が行われるよう工夫しています。
- ◇ 園外活動を積極的に取り入れています。1日2回の散歩のうち、主に午前の散歩は近所のいくつかの公園に行き、午後は最寄駅近辺や、電車を見に行くなどのコースを作っています。体力作りと共に地域と関わりながら、自然に触れる体験ができるよう考えています。
- ◇ 一斉活動の場においては、約束事やルールを乳児の時から教え、次第に自分たちだけでもルールを話し合い、みんなで一緒に遊び・生活ができるように導いています。
- ◇ 朝夕の合同保育時間以外においても、5歳児が3歳児に絵本を読んだり、散歩先で一緒に遊んだり、保育園全体で大きな家族のような自然な関わりを、持っています。
- ◇ 保育士は子どもたちに穏やかな言葉と優しい笑顔、平等な接し方で信頼関係を築き、さらに保育士自身の行動や言葉遣いも子どもたちの見本になるよう心がけています。
- ◇ 3歳児は食育と散歩を兼ねて、近所のスーパーに昼食材料を買い物に行く体験をします。「店内で走らない・騒がない」などの約束も教えられ、社会と関わる良い経験ともなっています。
- ◇ ひなまつり、子どもの日、七夕、クリスマスなどの行事には子どもが目で見ると喜ぶ盛り付けを工夫するほか、日常の献立も季節の食材を使っています。

### 3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画には全職員が関わり、本部が作成した系列4園共通の「保育基準計画」を基に、21時までの延長保育の実施、ホームページによる園内画像の配信など、保護者の就労状況にも考慮して作られています。地域の実態、周囲の環境などは年間カリキュラムの中に盛り込んでいます。
- ◇ 0、1歳児の新入園児に対し個別に主担当保育士は決まっていますが、クラス担任同士で細かく声を掛け合いフォローしています。また、週ごとに同じ保育士が担当する、同じ職員が受け入れるなどの配慮をしています。
- ◇ 前月の反省や子どもの様子、発達の段階についてクラス担任が話し合い、指導計画の作成・評価・見直しを行っています。指導計画の評価・改訂にあたっては、各クラスでまとめたものを施設長、主任

が助言・指導し、全クラスに配布・周知しています

- ◇ 0、1歳児については個別指導計画を作成しています。幼児については、特別な課題がある場合はクラスやスタッフ会議で保育のやり方や目標について話し合っていますが、個別指導計画は作成していません。
- ◇ 特に配慮を要する子どもに関しては保健師、戸塚地域療育センターから助言や情報を得るとともに、スタッフ会議やミーティングで保育の方針について話し合い、職員間で情報を共有するなどの取り組みを行っていますが、個別の指導計画は作成していません。
- ◇ アレルギー疾患のある子どもについては、子どものかかりつけ医から「主治医意見書」を必ず提出してもらい、それに基づき、除去食、代替食を提供しています。
- ◇ 本社の苦情受付窓口は紹介していますが、権利擁護機関などの他機関の苦情解決窓口の紹介は行っていません。
- ◇ 子どもの健康管理に関するマニュアルを作成し、それに基づいて子どもの健康状態を把握しています。毎朝のクラスミーティングで、子ども一人ひとりの健康状態がクラス担任から伝えられ、他クラスの子どもたちの様子も各クラスの保育士が共有しています。
- ◇ 毎月の避難訓練・防犯訓練は、園内だけでなく散歩先での避難や不審者など、いろいろな状況を想定した避難場所への誘導訓練を行っています。
- ◇ 保護者組織はありませんが、園の運営委員会は会を構成する10名のうち6名が保護者であり、年2回の定例委員会では、活発に意見交換が行われています。

#### 4、地域との交流・連携

- ◇ 年2回開催している運営委員会に、地域代表も参加し、地域のニーズについて話し合いをしています。
- ◇ 子育て支援としてニーズの高い一時保育を実施していますが、地域住民向けの相談や講習等を実施するには至っていません。
- ◇ ホームページに育児に関するQ & Aがあり、必要な人が見ることが出来ますが、園として育児相談は行うまでには至っていません。
- ◇ 地域との関わりとして、日ごろ利用する公園のごみ拾いを行ったり、散歩の際に挨拶を交わしたりといった交流を行っていますが、地域住民や地域の他施設との交流を行うまでには至っていません。
- ◇ 職場体験の中高生を受け入れ、職員との意見交換や終了後のレポート提出など、丁寧な対応を行っています。
- ◇ ボランティアや実習生の受け入れはまだありませんが、受け入れのための留意事項等を文書化しており、担当も決まっていますので、今後の実施が待たれます。

#### 5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 組織および職員が守るべき法・規範・倫理等が法人としてのCSR(企業の社会的責任)として明文化されています。年1回、施設長が、CSRの導入研修ビデオを用いて全職員に対して研修を行うとともに、アンケートで理解度をチェックし周知しています。
- ◇ 「相鉄グループ環境取組マニュアル」の中に環境への考え方、取り組みを明文化し、運営に活かしています。
- ◇ 年度初めに、園の保育理念、方針を明記した『ご利用のしおり』を非常勤職員を含む全職員に配布しています。年度初めの全職員が参加する職員会議や毎月のスタッフ会議において施設長は職員に保育理念、方針を周知しています。また、日常の保育の中でも施設長、主任が保育理念、方針について確認しています。
- ◇ 現在リーダークラスを育成中であり、まだ、後継者を計画的に育成するまでには至っていません。
- ◇ 施設長は系列4園の施設長会議、泉区の園長会、他の鉄道会社などから、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。重要な情報は幹部職員で議論し重点改善課題として設定され、ミーティン

グ、スタッフ会議等で職員に周知しています。

## 6、職員の資質向上の促進

- ◇ 施設長は園の理念・方針を踏まえた保育を実施するよう、将来のリーダー育成を視野に入れ、指導・助言を行っていますが、具体的な人材育成計画としては明文化されていません。
- ◇ 法人は働きやすい環境を整え人材の流出を防ぐことが、将来の人材育成につながっていると考え、育児のための短時間制度や沿線に保育士のための託児所を設けるなど「働きやすく子育てしやすい企業」を目指し、体制づくりをしています。
- ◇ 職員は年度初めに自己目標を「目標管理シート」に記載し、資質向上に向けた目標を定めています。各自の目標は年3回の施設長、本社スタッフとの面談において達成度が評価されています。
- ◇ 外部研修は原則として希望する職員が参加できる形をとっており、おおむね全職員が受講しています。外部研修に参加した職員は研修レポートを提出するとともに、内部研修において職員に対し報告しています。
- ◇ 系列4園との交換研修を行っています。いろいろな保育を見、多くのことを学ぶとともに、同じ立場やクラスを系列園で経験することにより、自分自身の保育を見直す良い機会となっています。交換研修を行った職員に対しては施設長、主任が個別に面接を行い成果を確認するとともに、園の運営や保育の見直しに活かしています。
- ◇ 経験等に応じた役割や期待水準について必要に応じて口頭で伝えていますが、明文化していません
- ◇ 職員は、9月の継続調査書に意見、希望等を記入することができます。また、年3回の評価面接時には施設長、本社スタッフが職員の要望、意見を直接聞いています。

## 分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。



「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

### 評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類   | 評価の理由(コメント)   |
|--|---|
| <p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針として「GENKIDSは、“今日”という毎日の暮らしに『生活の型』を通して喜びと安心感を与えることが、子どもたちが“未来”に生きることにつながると考えています。子どもたちが最良の今日を生き、そして望ましい未来を作り出す力を培えるよう、GENKIDSは保育を通じてサポートします」を掲げ、利用者本人を尊重したものと なっています。具体的には「あたたかい保育園を目指します」「保護者とのコミュニケーションを大切にします」「個性の育み」「創造性の育み」「躰の育み」となっています。</li> <li>年度初めに、非常勤職員を含む全職員に対し、『そうてつ保育園 GENKIDS 緑園都市ご利用のしおり』を配布するとともに、年度初めの職員会議において、施設長が非常勤職員を含む全職員に保育理念・方針を周知しています。</li> <li>保育士は、園を「家庭の延長」ととらえ、「子どもたちのために何が できるか」を常に考えて保育を行うように心がけています。</li> <li>保育計画は本部が作成した系列4園共通の「保育基準計画」を基に、全職員が関わり、21時までの延長保育の実施、ホームページによる園内画像の配信など、保護者の就労状況にも考慮して作られています。地域の実態、周囲の環境などは年間カリキュラムの中に盛り込んでいます。</li> <li>年度初めに保護者に対し保育計画を配布するとともに、年度初めの懇親会で新年度の保育方針や目標、保育計画などについて保護者に説明しています。</li> <li>子どもが戸外遊びで楽しんでいるものや興味を持っているものをデイリープログラムに取り入れるなど、指導計画には柔軟性を持たせています。</li> </ul> |

- 2 子どもの発達や状況に  
応じた適切な援助の実施



- ・ 入園時に生育暦や寝かしつけ方法、食事、アレルギーなどの家庭での状況を保護者に児童票に記入してもらい、それをもとに面接で確認し把握しています。面談時に把握した子どもについての情報は、記録し、個人ファイルとして鍵がかかる引き出しに保管し、必要な時は全スタッフが見ることができます。
- ・ 0、1歳児の新入園児に対し個別に主担当保育士は決まっていますが、クラス担任同士で細かく声を掛け合いフォローしています。また、週ごとに同じ保育士が担当する、同じ職員が受け入れるなどの配慮をしています。
- ・ 子どもが心理的拠り所とするものの持ち込みについては、おもちゃは玄関でしまうなどの一定のルールはありますが、制限はしていません。
- ・ 前月の反省や子どもの様子、発達の段階についてクラス担任が話し合い、指導計画の作成・評価・見直しを行っています。指導計画の評価・改訂にあたっては、各クラスでまとめたものを施設長、主任が助言・指導し、全クラスに配布・周知しています。

- 3 快適な施設環境の確保



- ・ 保育園の屋内・外とも、清掃マニュアルに基づき清掃され、清潔に保たれています。空気清浄機、窓の開閉による換気などで、通風・換気等が確保されるとともに、エアコン、床暖房で施設内の温度の管理が適切に行われています。また、各保育室には加湿器が置かれています。
- ・ 沐浴・シャワー設備があり、マニュアルに基づき管理、清掃が行われています。
- ・ 乳児の保育室には子どもが入り込めるようなスペースやコーナーはありませんが、遊びの時にはマットや机などを用いて仕切り、小集団保育が行われるよう工夫しています。また、1、2歳児、4、5歳児は同じ保育室を仕切って使っているため、音楽や保育士の声などが騒音にならないよう、時間や活動を調整するなど工夫しています。

- 4 一人ひとりの子ども  
に個別に対応する努力



- ・ 0、1歳児については個別指導計画を作成しています。幼児については、特別な課題がある場合はクラスやスタッフ会議で保育のやり方や目標について話し合っていますが、個別指導計画は作成していません。
- ・ 0、1歳児は一人ひとりの様子を毎日、「成長過程」に記録しています。2歳児以上については成長が見られた時、気になる様子があった時などに「成長過程」に記録しています。記録は、健康、食事、排泄、睡眠、着脱、遊び、人間関係などの項目ごとに「成長記録」にまとめています。子どもの記録は個人ファイルにまとめ鍵のかかる引き出しに保管され、必要な時は全職員で共有することができます。

- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・ ミーティングや毎月のスタッフ会議において、個別のケースについて話し合い、記録しています。また、外部研修などで得た最新の情報については、参加した職員が研修レポートを作成するとともに、園内研修において職員に発表、皆で学習し、情報を共有しています。必要な情報は記録・保管し、職員は必要な時にはいつでも見ることができます。
- ・ 保健師、戸塚地域療育センターから助言や情報を得るとともに、スタッフ会議やミーティングで保育の方針について話し合い、職員間で情報を共有するなどの取り組みを行っていますが、個別の指導計画は作成していません。また、保護者に対してはこまめに話し合いを行い、保育の方針について伝えています。
- ・ アレルギー疾患のある子どもについては、子どものかかりつけ医から「主治医意見書」を必ず提出してもらい、それに基づき、除去食、代替食を提供しています。子どもの情報はその日の申し送りでも全職員に対し周知、確認しています。また、除去食、代替食を提供した子どもの連絡ノートには変更したメニューを記載するなど、保護者と連携を密にしています。
- ・ 文化、生活習慣、考え方の違いを認め尊重しています。宗教上の問題で食べられないものがある場合は代替食を提供するとともに、調理過程を写真に取って保護者に見せるなどの配慮を行いました。

- 6 苦情解決体制



- ・ 要望・苦情の受付窓口や第三者委員の氏名、連絡先などの苦情体制を、『そうてつ保育園 GENKIDS 緑園都市 苦情解決体制』としてプリントにまとめ、園内に掲示するとともに保護者に配布しています。
- ・ ご意見箱を設置するとともに、年2回の懇親会、個人面談、行事後のアンケート、送り迎え時の保護者への声かけなどで保護者とのコミュニケーションを図り、意見、要望、苦情などを吸い上げるよう努めています。
- ・ 本社の苦情受付窓口は紹介していますが、権利擁護機関などの他機関の苦情解決窓口の紹介は行っていません。
- ・ マニュアルとして「そうてつ保育園 GENKIDS における保育サービスに関する苦情解決事務処理要綱」を定めています。
- ・ 要望や苦情、トラブルは記録し、朝のミーティングやスタッフ会議で全職員に周知しています。また、要望や苦情、トラブルについての情報は本社に報告するとともに、施設長会議で話し合わせ、各園での解決に活かされています。

## 評価領域 サービスの実施内容

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p data-bbox="161 300 472 338">- 1 保育内容[遊び]</p>  | <ul data-bbox="592 259 1474 1498" style="list-style-type: none"><li>・ 戸外遊びに重点をおく方針の当園は、散歩に十分時間を取るプログラムを作成していますが、室内での遊びにおいても子どもたちは自分の「したい遊び」を見つけることができ、落ち着いて遊びこんでいます。</li><li>・ 一斉活動の場においては、約束事やルールを乳児の時から教え、次第に自分たちだけでもルールを話し合い、みんなで一緒に遊び・生活ができるように導いています。</li><li>・ 3歳児は食育と散歩を兼ねて、近所のスーパーに昼食材料を買い物に行く体験をします。「店内で走らない・騒がない」などの約束も教えられ、社会と関わる良い経験ともなっています。</li><li>・ 園外活動を積極的に取り入れています。1日2回の散歩のうち、主に午前の散歩は近所のいくつかの公園に行き、午後は最寄駅近辺や、電車を見に行くなどのコースを作っています。体力作りと共に地域と関わりながら、自然に触れる体験ができるよう考えています。</li><li>・ 保育園で用意してある素材や用具のほかに、幼児クラスは各自の自由画帳と粘土があり、自由に絵を描いたり粘土遊びをして過ごしています。</li><li>・ 子ども同士のけんかについては、保育士がすぐに間に入るのではなく、様子を見た上で、それぞれの気持ちを伝え、子ども同士で解決ができるように導いています。さらに嫌な時は「いや」、悪かった時は「ごめん」と、言葉に出して相手に伝えることを教えています。</li><li>・ 朝夕の合同保育時間以外においても、5歳児が3歳児に絵本を読んだり、散歩先で一緒に遊んだり、保育園全体で大きな家族のような自然な関わりを、持っています。</li><li>・ 保育士は子どもたちに穏やかな言葉と優しい笑顔、平等な接し方で信頼関係を築き、さらに保育士自身の行動や言葉遣いも子どもたちの見本になるよう心がけています。</li></ul> |

## - 1 保育内容[生活]



- ・ 0歳児から食事の挨拶を行ない、食べものの説明や、食事中的適切な声かけなどをすることで、子どもたちは食べることに意欲を持ち、給食を楽しんでいます。
- ・ 乳児の授乳については家庭での授乳時間に合わせて行っています。保育士は乳児を抱っこし、優しい言葉かけを十分にしながら授乳し、子どもとの信頼関係を築いています。なお、母乳の子どもは哺乳瓶の乳首に慣れてもらった上で、冷凍母乳を受け入れて対応しています。
- ・ ひなまつり、子どもの日、七夕、クリスマスなどの行事には子どもが目で見えて喜ぶ盛り付けを工夫するほか、日常の献立も季節の食材を使っています。
- ・ 食材はほとんどを国産の安全確認できるものを使用していますが、輸入食材を使用する時は添加物の有無などを確認し、業者から安全保証の文書が届いてから使うなどの配慮をしています。また、おやつも手作りで、安心・安全なものを提供しています。
- ・ 栄養士、調理士に加えて保育士、主任、施設長も出席する給食ミーティングがあり、食べにくい食材の切り方、食欲を増す盛りつけの仕方、嫌いなものを少しでも食べてみる声かけなどについて話し合いを行い、次の献立・調理に反映しています。
- ・ 年4回の「きゅうしょくだより」や、毎月の「園だより」の中の「給食室より」欄で、食事についての園の考え、食材、栄養、などさまざまな角度からの食に関わる記事を掲載しています。
- ・ 昼食とおやつの実物サンプルを玄関に掲示し、保護者がお迎え時に見られるようにしているほか、人気メニューのレシピも提供しています。さらにホームページでも毎月の献立やレシピを提供しています。
- ・ 0・1歳児の午睡時は15分ごとの呼吸確認を行ない記録するほか、保育士が必ずそばにつく体制をとっています。
- ・ 5歳児は、12月中旬より徐々に午睡時間を短くし、1月から午睡をなくして、就学への準備をしています。
- ・ トイレトレーニングは、まず便器に座ることから徐々に進めています。あせることなく、家庭との連携をとりながら、ゆっくりと行っています。
- ・ 保育士はおもらしや、おねしょを叱ることはなく、自然に出来るようになるまで認識しています。他の子どもたちが失敗をからかうこともありません。トイレは明るい設計で、後始末も気持ちよくしてもらっています。

|  |  |
|--|--|
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもの健康管理に関するマニュアルを作成し、それに基づいて子どもの健康状態を把握しています。毎朝のクラスミーティングで、子ども一人ひとりの健康状態がクラス担任から伝えられ、他クラスの子どもたちの様子も全クラスの保育士が共有しています。</li> <li>・ 年2回の健康診断、年1回の歯科健診、月1回の身体測定を行い、記録を個人別のファイルで保管しています。</li> <li>・ 感染症への対応に関するマニュアルが作成されており、保護者へは入園時に配布する『ご利用のしおり』に記載して、伝えています。</li> </ul>  |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 衛生管理に関する外部研修を年1回受講しています。研修に出た職員は研修レポートを提出し、他の職員に回覧して研修内容の共有をしています。</li> <li>・ 清掃マニュアルに基づいて清掃が行われ、清潔が保たれています。おむつ替えの場所や保育士の手指の消毒、手洗い場のペーパータオル使用などの常日ごろの衛生管理ができています。</li> </ul>  |
| <p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地震などを想定し、保育室内の棚は作りつけにする、備品には耐震用のゴムやベルトで落下を防止する、などの対策をしています。</li> <li>・ 毎月の避難訓練・防犯訓練は、園内だけでなく散歩先での避難や不審者など、いろいろな状況を想定した訓練を行っています。子どもたちは保育士の指示に従って速やかな行動ができ、日頃の訓練の効果が見て取れます</li> <li>・ 年1回、救命救急講習を実施し全職員が受講しています。</li> <li>・ 子どものけがは小さなものであっても必ず保護者に口頭で報告し、翌朝の経過確認を行っています。</li> <li>・ 事故やケガが発生した時は、本社に報告書を提出し、さらに園内においても全職員に報告書の回覧をしています。発生原因・処置・再発防止対策の項目で記録に残しています。</li> <li>・ 玄関は施錠され、保護者は登降園時にセキュリティーカードを使用しています。各クラスの外廊下に面したサッシ戸も施錠され、鍵は担任保育士が常時携帯して安全に留意しています。</li> </ul> |
| <p>- 3 人権の尊重</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育士は、保育園は家庭の延長であり「子どもたちのために何ができるか」を念頭において保育にあたっています。「子どもが主」の認識を常に持ち、子どもの気持ちにそった保育を心がけ、実践しています。</li> <li>・ トイレには子どものプライバシーと安全が守れる形の扉が付いています。トイレに隣接するユーティリティー部分は、子どもが保育士とのスキンシップを持ちながら、保育士に甘えられる空間としての機能も持っています。</li> <li>・ 法人として個人情報保護方針を作り、全職員に配布しています。なお、園児名の記載がある書類の持ち出しは、施設長に申告が必要な仕組みになっています。</li> <li>・ 保育士は虐待についての外部研修を受講し、さらにそれを基に園内研修を実施して、全職員で家庭支援を含めての勉強をしています。</li> <li>・ 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別はしていません。</li> </ul>   |

#### - 4 保護者との交流・連携

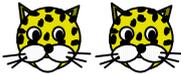


- ・ 『ご利用のしおり』は、入園時に配布するだけでなく毎年保護者全員に配布し、園の基本方針や保育理念を伝えています。
- ・ 年2回の個人面談、年3回の懇親会を実施しています。また保育士は、日ごろからいつでも保護者が話しやすいように心がけています。
- ・ 保護者からの相談があった時は、必要に応じて落ち着いて話せる場所を用意しています。
- ・ 月1回の「園だより」、年4回の「きゅうしょくだより」を発行しています。
- ・ 今年度から保育参加を始めました。保護者の出席率も良く、この試みを歓迎する声も多くあります。
- ・ 保護者組織はありませんが、園の運営委員会は会を構成する10名のうち6名が保護者であり、年2回の定例委員会では、活発に意見交換が行われています。

## 評価領域 地域支援機能

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回開催している運営委員会に、地域代表も参加し、地域のニーズについて話し合いをしています。</li> <li>・泉区内で開かれる未就園児の親子を対象とした「いずみっこ広場」や園長会議、子育て支援会議で区内の地域ニーズを把握しています。</li> <li>・子育て支援としてニーズの高い一時保育を実施しています。</li> <li>・地域住民向けの相談や講習等を実施するには至っていません。</li> </ul> |
| <p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページに育児に関するQ &amp; Aがあり、必要な人が見ることが出来ますが、園として育児相談は行うまでには至っていません。今後、ホームページの一層の活用や専門性を活かした地域住民向けの相談などが望まれます。</li> </ul>   |

## 評価領域 開かれた運営

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）  |
|--|--|
| <p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 区内の他施設とともに園の内容を紹介する「いずみっこ広場」に参加をしたり、運営委員会に地域の代表が参加したりする機会を設けています。</li> <li>・ 地域との関わりとして、日ごろ利用する公園のごみ拾いを行ったり、散歩の際に挨拶を交わしたりすることで交流を行っています。</li> <li>・ 地域住民や地域の他施設との交流を行うまでには至っていません。</li> </ul> |
| <p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 園の内容についてはリーフレットやホームページで分かりやすく情報提供しています。</li> <li>・ 利用希望者や見学者に対して、リーフレットをもとに基本理念やサービス内容を説明しています。</li> <li>・ 見学については、保育に支障のない範囲で、日時を調整して対応しています。</li> </ul>                                     |
| <p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場体験の中高生を受け入れ、職員との意見交換や終了後のレポート提出など、丁寧な対応を行っています。</li> <li>・ ボランティアや実習生の受け入れはまだありませんが、受け入れのための留意事項等を文書化しており、担当も決まっていますので、今後の実施が待たれます。</li> </ul>  |

評価領域 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p>- 1 職員の人材育成</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設長は園の理念・方針を踏まえた保育を実施するよう、将来のリーダー育成を視野に入れ、指導・助言を行っていますが、具体的な人材育成計画としては明文化されていません。</li> <li>法人は働きやすい環境を整え人材の流出を防ぐことが、将来の人材育成につながっていると考え、育児のための短時間制度や沿線に保育士のための託児所を設けるなど「働きやすく子育てしやすい企業」を目指し、体制づくりをしています。</li> <li>職員は年度初めに自己目標を「目標管理シート」に記載し、資質向上に向けた目標を定めています。各自の目標は年3回の施設長、本社スタッフとの面談において達成度が評価されています。</li> <li>外部研修は原則として希望する職員が参加できる形をとっており、おおむね全職員が受講しています。外部研修に参加した職員は研修レポートを提出するとともに、内部研修において職員に対し報告しています。非常勤職員に対しては、研修レポートを渡し質問を受け付け、それに対して説明するという形を取っています。施設長、主任は研修レポートにより研修の成果を確認しています。</li> <li>系列4園との交換研修を行っています。いろいろな保育を見、多くのことを学ぶとともに、同じ立場やクラスを系列園で経験することにより、自分自身の保育を見直す良い機会となっています。交換研修を行った職員に対しては施設長、主任が個別に面接を行い成果を確認するとともに、園の運営や保育の見直しに活かしています。</li> <li>非常勤職員を含む全職員に対し、年度初めに『ご利用のしおり』とマニュアルを配布しています。また、年度初めの職員会議で非常勤職員も含む全職員に対し、基本理念、方針を説明するとともに、マニュアルの見直し、確認を行っています。</li> </ul> |
| <p>- 2 職員の技術の向上</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ミーティングやスタッフ会議において、個別の事例をもとに話し合い、個々のスキルについて自己評価し、サービスの見直しを行っています。また、系列4園の施設長会議において、良い事例や工夫・改善例などについての情報交換をしています。</li> <li>同じ法人による系列園の施設長や、保健師、区役所、戸塚地域療育センターから、技術の評価、指導を受けています。</li> </ul>   |
| <p>- 3 職員のモチベーション維持</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>経験等に応じた役割や期待水準について必要に応じて口頭で伝えていますが、明文化していません。</li> <li>職員は、9月の継続調査書に意見、希望等を記入することができます。また、年3回の評価面接時には施設長、本社スタッフが職員の要望、意見を直接聞いています。</li> </ul>   |

## 評価領域 経営管理

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）  |
|--|--|
| <p>- 1 経営における社会的責任</p>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織および職員が守るべき法・規範・倫理等が法人としてのCSR(企業の社会的責任)として明文化されています。年1回、施設長が、CSRの導入研修ビデオを用いて全職員に対して研修を行うとともに、アンケートで理解度をチェックし周知しています。</li> <li>・ 他施設での不正、不適切な行為があった場合はミーティング、スタッフ会議で伝え、話し合っています。また、グループヘルプラインを設け、万が一園で不正、不適切な事例があった場合は、職員が本社に直接メールすることができる体制を整えています。</li> <li>・ 「相鉄グループ環境取組マニュアル」の中に環境への考え方、取り組みを明文化し、運営に活かしています。</li> </ul>  |
| <p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年度初めに、園の保育理念、方針を明記した『ご利用のしおり』を非常勤職員を含む全職員に配布するとともに、年度初めの全職員が参加する職員会議や毎月のスタッフ会議において、施設長が職員に周知しています。また、日常の保育の中でも施設長、主任が確認しています。</li> <li>・ 重要な意思決定にあたっては、各クラスの保護者が参加する運営委員会にはかり意見交換しています。また、セキュリティカードの導入や隣接するマンションの建設に伴う園庭の改装など、重要な意思決定にあたっては、手紙、懇親会、説明会などを通し、保護者に理由・経過等を十分に説明しています。</li> <li>・ 現在リーダークラスを育成中であり、まだ、主任クラス育成にまでは至っていません。</li> <li>・ 主任は個々の職員の業務状況を把握するようにしています。また、個々の職員が精神的・肉体的に良好な状況で取り組めるよう、声をかけたり、話を聞くなどの配慮をしています。</li> </ul> |
| <p>- 3 効率的な運営</p>             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設長は系列4園の施設長会議、泉区の園長会、他の鉄道会社などから、事業運営に影響のある情報を収集・分析しています。重要な情報は幹部職員で議論し重点改善課題として設定され、ミーティング、スタッフ会議等で職員に周知しています。</li> <li>・ リーダーを育成している段階であり、まだ、後継者を計画的に育成するまでには至っていません。</li> <li>・ 法人は企業などが経営する保育園で構成する協議会に参加し、外部の機関や専門家の意見を聞いています。</li> </ul>  |

## 利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2008年11月4日～11月18日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。  
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 約64.4%（59枚配付、38枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...7人、1歳児クラス...8人、2歳児クラス...8人、3歳児クラス...6人、  
4歳児クラス...6人、5歳児クラス...3人  
ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

### 設問ごとの特徴

文中の「満足」「満足度」は、「満足」「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値、「不満」は、「不満」「どちらかといえば不満」の回答を合計した数値です。

#### 【問1】 保育園の基本理念や基本方針について

保育目標や保育方針を「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者は、約74%です。「よく知っている」「まあ知っている」と答えた保護者の100%が保育目標や保育方針に賛同できると答えています。

#### 【問2】 入園時の状況について

「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育暦を聞く対応」「保育園での1日の過ごし方についての説明」「費用やきまりに関する説明」については90%以上の満足度となっています。「入園前の見学」「園からの情報提供」「園の目標や方針についての説明」については80%以上の満足度です。

#### 【問3】 年間の計画について

「年間の保育や行事についての説明」については約92%の満足度です。しかし、「年間の保育や行事に保護者の要望がいかされているか」については満足と答えた保護者が約66%、不満と答えた保護者が約21%でした。意見欄には“保育参加がとても良かった”という意見がある反面“運動会の会場が狭い”“一度も意見を聞かれたことがない”“年間行事の説明などはない”などの意見があります。

#### 【問4】 日常の保育内容「遊び」「生活」について

「遊び」の項目では「クラスの活動やあそび」が約95%、「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分に持っているか」については約97%の満足度です。「子どもが戸外遊びを十分にしているか」「園のおもちゃや教材」「園外活動」「遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組み」については約90%の保護者が満足と答えています。“友だちと仲良く楽しく遊んでいるよう”“毎日の公園遊びと散歩がよい”と評価する声がある反面、“園庭がちゃんと活用されていない”という意見がいくつかありました。

「生活」の項目では、「お子さんが給食を楽しんでいるか」「基本的習慣の自立に向けての取り組み」が95%以上、「給食の献立」については90%以上、「昼寝や休憩」「お子さんの体調への気配り」「ケガに関する保護者への説明やその後の対応」については80%以上の満足度です。「おむつはずし」についてのその他約20%は“まだその時期でない”“入園した時おむつをしていなかった”というものです。

#### 【問5】 快適さや安全対策などについて

「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」については90%以上の満足度です。「施設設備」については66%近くの満足度で約29%が不満、「お子さんがおちついて過ごせ

る雰囲気」については約 76%の満足度で 19%が不満と答えています。これは、設備や園庭の狭さによるものと思われます。

【問6】 園と保護者との連携・交流について

「保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会」「園の行事の開催日や時間帯への配慮」については 90%以上、「園だよりや掲示による情報提供」「送り迎えの際の子どもに関する情報交換」「子どもに関する重要な情報の連絡体制」「保護者からの相談事への対応」「残業などで迎えが遅くなる場合の対応」については 80%以上の満足度です。“ 残業などにも柔軟に対応してくれる ” という感謝の声がある反面、“ 行事の詳細を早めに配布してほしい ” “ 子どもに問題があった時の報告が遅い時があるので、メモでも良いから早く欲しい ” という意見もあります。

【問7】 職員の対応について

「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」については満足度 100%です。「話しやすい雰囲気、態度であるか」については 90%以上、「子どもが大切にされているか」「意見や要望への対応」については 80%以上の満足度です。“ 保育士が皆、笑顔であいさつしてくれるのがとても良い ” という声がいくつかありました。

【問8】 保育園を総合的に評価すると

満足度は約 92%です。

まとめ

保護者は、園の日常の保育に、ほぼ満足している様子がうかがえます。特に、戸外遊びや友だちとの関わり、給食についての満足度は高いです。

「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」については全員が満足しています。自由記入欄にも “ 話しやすい雰囲気があり安心して子どもを任かされる ” “ 子どもは先生が大好きです ” などの声が見られました。施設面については、狭さなどの構造上の問題だけでなく “ 園庭をもっと活用して欲しい ” という声が見受けられました。

保護者は子どものことに関する情報についてはほぼ満足しています。しかし、“ 保護者の園への意見・要望をどのように伝えればよいか分からない ” “ 意見を聞かれたことがない ” などの意見があります。園が保護者の意見・要望をどのような方法でくみ上げているか、いかに生かしているかについて保護者に周知することが望まれます。

## 利用者（園児）家族アンケート集計結果

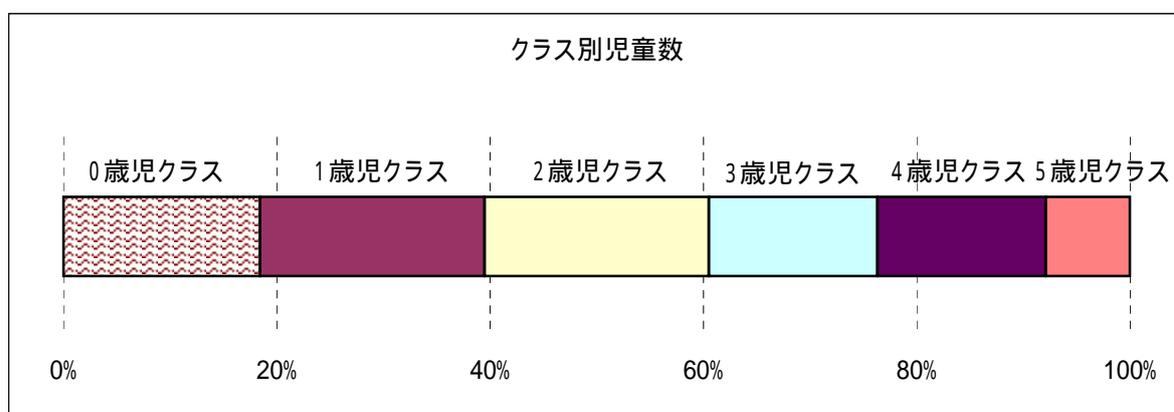
実施期間： 2008年 11月4日～11月18日

回収率： 64.4%（回収38枚 / 配布59枚）

### 【属性】

| クラス別児童数 |        |        |        |        |        |        | (人) |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 合計      | 0歳児クラス | 1歳児クラス | 2歳児クラス | 3歳児クラス | 4歳児クラス | 5歳児クラス | 無回答 |
| 38      | 7      | 8      | 8      | 6      | 6      | 3      | 0   |

同一家族で複数名が園に在籍の場合は、下の子どものクラスで記入



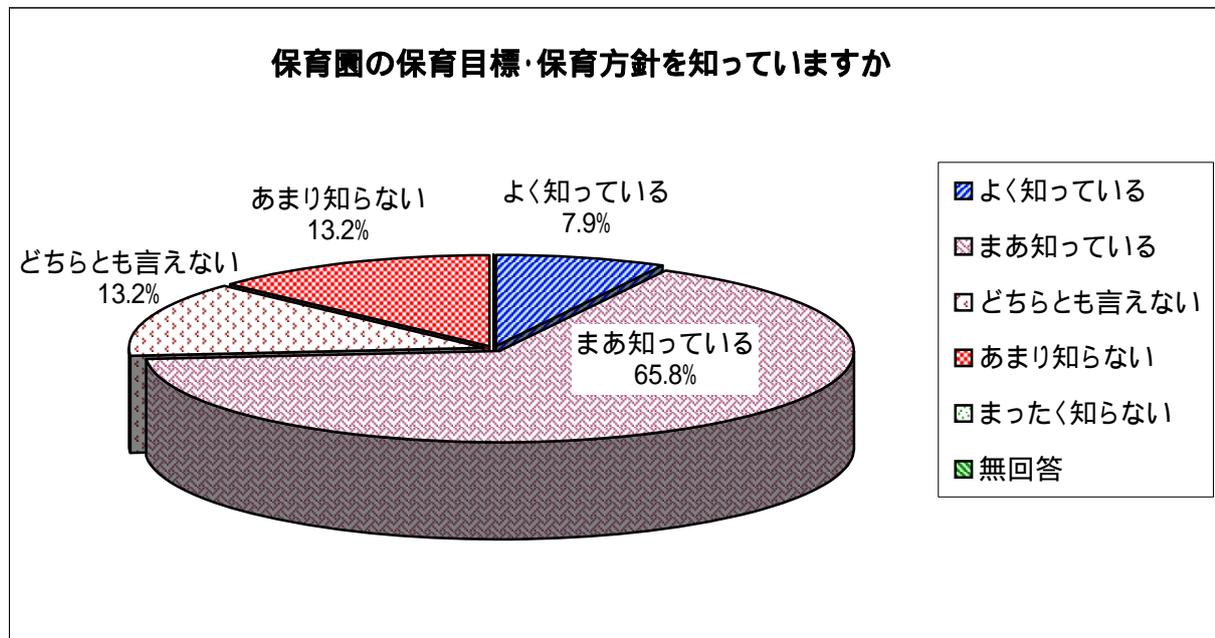
# 保育園の基本理念や基本方針について

## 問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

| 問1:                       | よく知っている | まあ知っている | どちらとも言えない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 | 計   |
|---------------------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|-----|
| あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか | 7.9     | 65.8    | 13.2      | 13.2    | 0.0      | 0.0 | 100 |

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

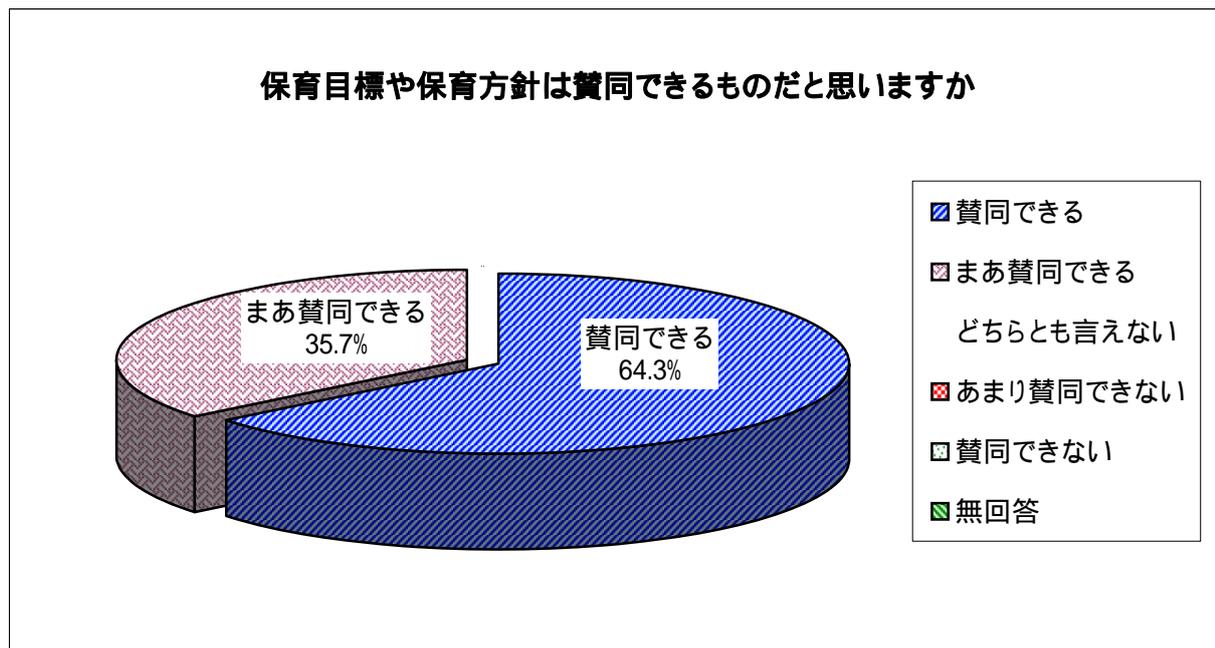


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

## 付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

| 付問1:                            | 賛同できる | まあ賛同できる | どちらとも言えない | あまり賛同できない | 賛同できない | 無回答 | 計   |
|---------------------------------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|-----|
| あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか | 64.3  | 35.7    | 0.0       | 0.0       | 0.0    | 0.0 | 100 |



# 保育園のサービス内容について

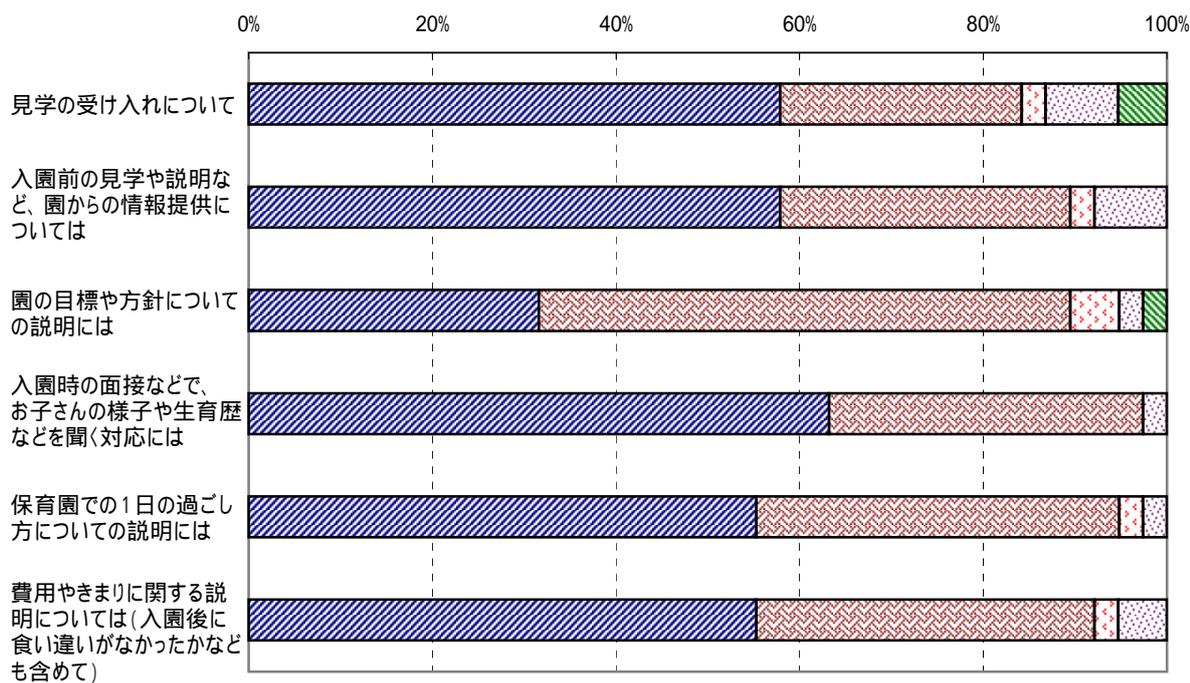
## 問2 入園時の状況について

(%)

|   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 見学の受け入れについて                             | 57.9 | 26.3       | 2.6        | 0.0 | 7.9 | 5.3 | 100 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については               | 57.9 | 31.6       | 2.6        | 0.0 | 7.9 | 0.0 | 100 |
| 園の目標や方針についての説明には                        | 31.6 | 57.9       | 5.3        | 0.0 | 2.6 | 2.6 | 100 |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には          | 63.2 | 34.2       | 0.0        | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 100 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には                   | 55.3 | 39.5       | 2.6        | 0.0 | 2.6 | 0.0 | 100 |
| 費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて) | 55.3 | 36.8       | 2.6        | 0.0 | 5.3 | 0.0 | 100 |

### 入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



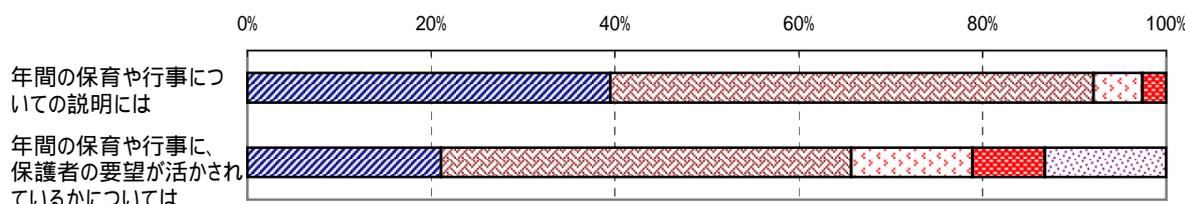
## 問3 年間の計画について

(%)

|                                | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には              | 39.5 | 52.6       | 5.3        | 2.6 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 21.1 | 44.7       | 13.2       | 7.9 | 13.2 | 0.0 | 100 |

### 年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

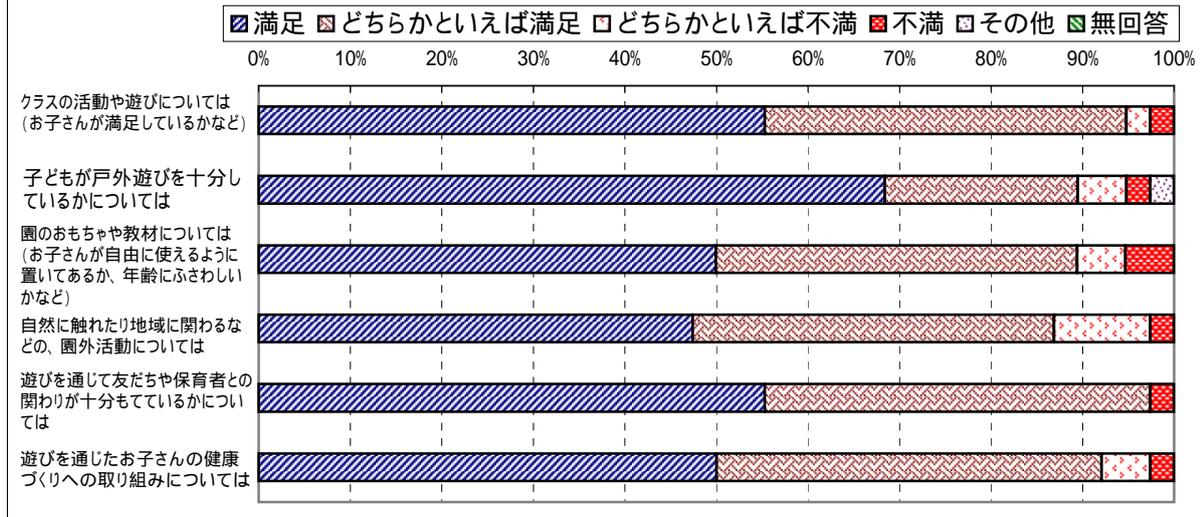


### 問4 日常の保育内容について

(%)

| 「遊び」について   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)                   | 55.3 | 39.5       | 2.6        | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては                            | 68.4 | 21.1       | 5.3        | 2.6 | 2.6 | 0.0 | 100 |
| 園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 50.0 | 39.5       | 5.3        | 5.3 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については                       | 47.4 | 39.5       | 10.5       | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては                 | 55.3 | 42.1       | 0.0        | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                      | 50.0 | 42.1       | 5.3        | 2.6 | 0.0 | 0.0 | 100 |

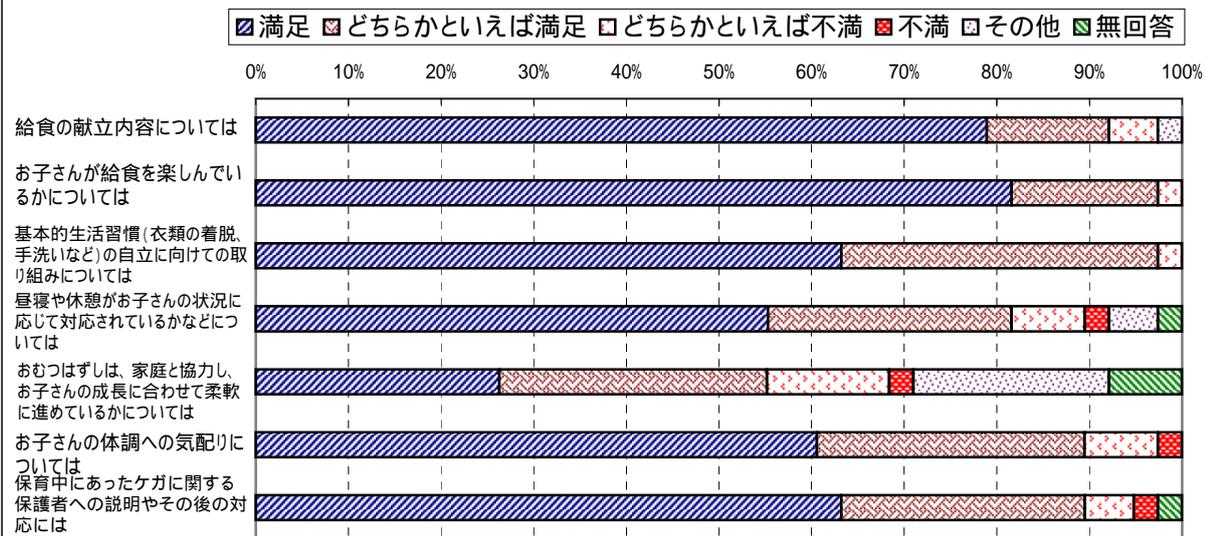
#### 日常の保育内容「遊び」について



(%)

| 「生活」について                                  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答 | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|-----|
| 給食の献立内容については                              | 78.9 | 13.2       | 5.3        | 0.0 | 2.6  | 0.0 | 100 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては                      | 81.6 | 15.8       | 2.6        | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| 基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては    | 63.2 | 34.2       | 2.6        | 0.0 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては          | 55.3 | 26.3       | 7.9        | 2.6 | 5.3  | 2.6 | 100 |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 26.3 | 28.9       | 13.2       | 2.6 | 21.1 | 7.9 | 100 |
| お子さんの体調への気配りについては                         | 60.5 | 28.9       | 7.9        | 2.6 | 0.0  | 0.0 | 100 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には             | 63.2 | 26.3       | 5.3        | 2.6 | 0.0  | 2.6 | 100 |

#### 日常の保育内容「生活」について



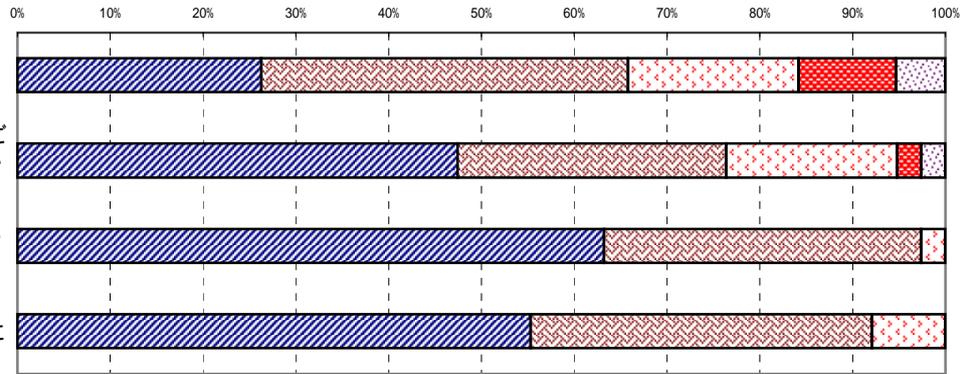
### 問5 快適さや安全対策などについて

(%)

|                               | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満   | その他 | 無回答 | 計   |
|-------------------------------|------|------------|------------|------|-----|-----|-----|
| 施設設備については                     | 26.3 | 39.5       | 18.4       | 10.5 | 5.3 | 0.0 | 100 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 47.4 | 28.9       | 18.4       | 2.6  | 2.6 | 0.0 | 100 |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については          | 63.2 | 34.2       | 2.6        | 0.0  | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については     | 55.3 | 36.8       | 7.9        | 0.0  | 0.0 | 0.0 | 100 |

#### 快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



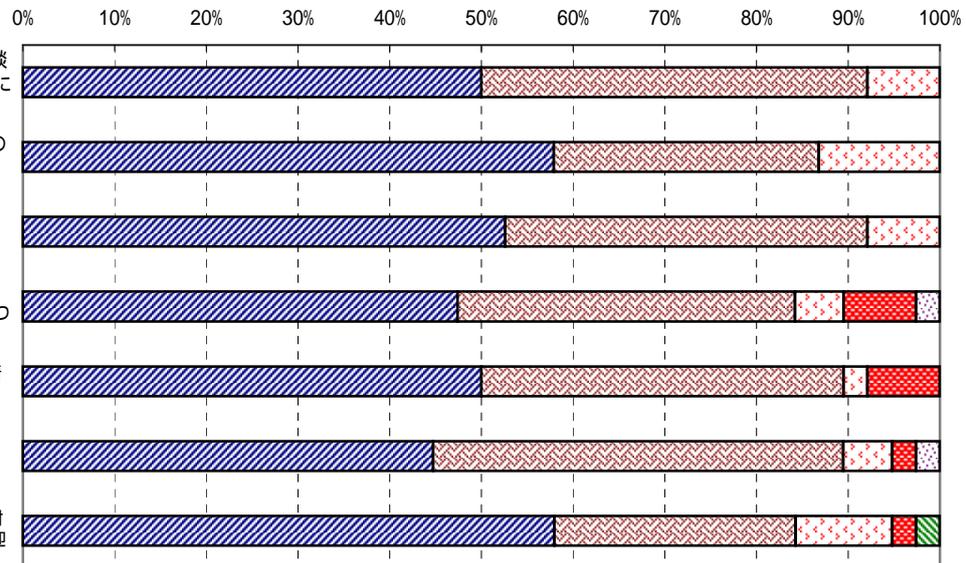
### 問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

|   | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 | 計   |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については              | 50.0 | 42.1       | 7.9        | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については           | 57.9 | 28.9       | 13.2       | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については                     | 52.6 | 39.5       | 7.9        | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については               | 47.4 | 36.8       | 5.3        | 7.9 | 2.6 | 0.0 | 100 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 50.0 | 39.5       | 2.6        | 7.9 | 0.0 | 0.0 | 100 |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 44.7 | 44.7       | 5.3        | 2.6 | 2.6 | 0.0 | 100 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 57.9 | 26.3       | 10.5       | 2.6 | 0.0 | 2.6 | 100 |

#### 園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



### 問7 職員の対応について

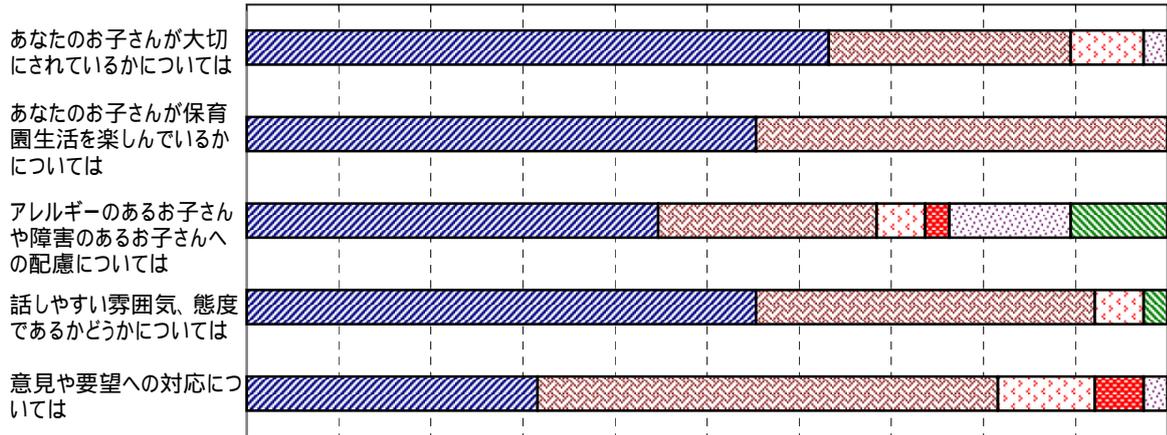
(%)

|                                 | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他  | 無回答  | 計   |
|---------------------------------|------|------------|------------|-----|------|------|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 63.2 | 26.3       | 7.9        | 0.0 | 2.6  | 0.0  | 100 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては    | 55.3 | 44.7       | 0.0        | 0.0 | 0.0  | 0.0  | 100 |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 44.7 | 23.7       | 5.3        | 2.6 | 13.2 | 10.5 | 100 |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては         | 55.3 | 36.8       | 5.3        | 0.0 | 0.0  | 2.6  | 100 |
| 意見や要望への対応については                  | 31.6 | 50.0       | 10.5       | 5.3 | 2.6  | 0.0  | 100 |

#### 職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

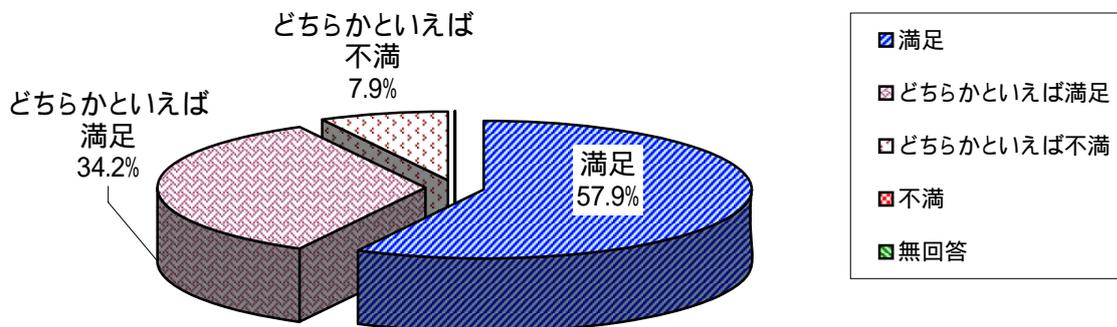


### 問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

|        | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | 無回答 | 計   |
|--------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 総合満足度は | 57.9 | 34.2       | 7.9        | 0.0 | 0.0 | 100 |

#### 総合満足度



## 利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 12月15日（月）9：00～18：00 12月18日（木）8：40～17：00

午前中の時間帯を中心に、断続的に実施しました。

観察中、幼児を中心に、会話の中で適宜聞き取りを行いました。

### 0歳児クラス

朝の時間、ままごとのおもちゃを持って、保育士に遊んでもらっています。保育士の「どうぞ」「ありがとう」の言葉かけでおもちゃのやり取りをする子どももいます。保育の場面を変える時は保育士が歌を歌うことで、子どもたちの注意を喚起します。「おかたづけ」の歌が始まり、おもちゃの入れ物が出されると子どもたちは保育士と一緒に、持っているおもちゃを片付けます。離れている子どもには保育士がおもちゃを手渡して「ないないしてね」と言うと、入れ物におもちゃを片付けています。保育士はみんな優しく穏やかな声で「ちゃん上手」「ちゃんありがとう」と出来たことを褒めています。「はじまるよ」の歌から絵本読みと手遊びが始まります。子どもたちはみんな集中して話を聞いています。

観察日は、バギーに乗って、近隣の公園に散歩に行きました。公園に着くとブルーシートを広げた上で、順々に靴を履かせてもらい、砂場で遊んだり、柔らかいボールをけったり、葉っぱを拾ったり、保育士に向かって歩いてきたり、思い思いに動きまわっています。お尻でズリズリしながら動いたり、よちよち歩きをしたりですが、みんなとても行動的です。元気いっぱい遊びました。

食事の時は、手づかみで食べる子もスプーンで食べる子も皆、食欲旺盛です。子どもが口の中に食べ物を入れると保育士は「ゆっくりアムアム」「モグモグ」と、一人ひとりに声かけをしてよく噛んで食べることを教え、全部食べ終わった子どもには、「すごい、ピカピカ」と大きく褒めています。

1歳の誕生日から歯磨きをしています。歯ブラシを口に入れる練習から始め、保育士が仕上げをしています。

### 1歳児クラス

朝は1・2歳児が、2歳児の保育室で一緒に遊んでいました。ブロック遊び、絵本読み、お人形さんごっこなど、それぞれ遊びを見つけています。数人の友だちと話しながらブロックを長くつなげる子どもたちもいます。

1歳児保育室に移動してからは、朝のおやつを食べて自由遊びの時間です。おもちゃの皿、コップ、野菜などで、ままごと遊びをしています。おもちゃの取り合いもありますが「かして」「いや」「ごめん」などを、口に出して相手に伝えています。手が出てしまった時は保育士が間に入って、言葉で伝えるように教えています。

おやつ後は、公園に散歩に出かけます。公園までの途中、道路工事、電車、バイク、街のゴミまでも子どもたちの興味をひきます。おしゃべりをしたり、歓声を上げたり、歌を歌ったりしながらにぎやかに歩きます。公園は雨上がりで泥んこですが、子どもたちは泥んこの中を歩くことが楽しそうです。小山を登り降りしたり、木の実を拾ったり、保育士が吹くシャボン玉を追いかけたり、思いきり外遊びを堪能しました。公園では3・5歳児と一緒にりましたが、年上の子どもが年下の子どもに手を貸したり、危ないことを止めたりと、しっかり面倒を見てくれています。帰りは、公園で一緒になった親子連れにみんな「バイバイ」をして公園を出ました。

給食の時間、「ノントンもぐもぐもぐ」の絵本を読んで食事への興味をひきます。保育士は食材の話聞かせたり、食べたことを褒めたりと、たくさんの言葉かけをしながら介助しています。

## 2 歳児クラス

朝のおやつが始まります。子どもたちの椅子の背には、子どもたちそれぞれの「しるし」にブドウやキリンなどの絵が貼ってあり、子どもは自分の椅子が分かります。一人ずつ手を洗って自分の席に着き、牛乳とビスケットの朝のおやつを食べました。

トイレトレーニングとして、トイレ横のユーティリティの床に低い椅子が置いてあり、ここに座って自分でズボンとおむつを脱ぎます。保育士はずっとそばにいて、一人でできるように声をかけたり、少し手伝ったりしています。便器での排泄が終ると、椅子の前にズボンがそのまま足を入れれば良い形に広げられ、その上に新しいおむつを乗せてセットされています。おむつとズボンをはくことも大事な練習です。保育士に励まされながら上手にできていました。トイレだけでなく、自分でできることをひとつずつ増やしていきます。自分のタオルを、四角くたたみ、ロッカーにしまうまでの練習もしています。

夕方の散歩は、保育園近辺を一周します。線路沿いを歩き、電車を見ながらおしゃべりをしています。「赤い電車に乗ったんだよ」「私は青い電車」「お父さんもこれ乗るんだよ」次々にお話が出てきます。帰り道は日も暮れて、住宅のクリスマス飾りがきれいです。先週のクリスマス会で覚えた歌を歌い始める子どもたちもいました。

## 3 歳児クラス

2 日目の訪問日は地震から火事になったことを想定した避難訓練と不審者を想定した防犯訓練が行われていました。

自由時間の最中、保育士の笛と「地震です」の声から始まりました。保育士が子どもたちに「姿勢を低くして机の下に」「おしゃべりはしない」「口を押さえてテラスに出て」などと次々に指示を出します。一人、トイレの途中だった子どもが驚いて泣きましたが、ほかの子どもたちはみんな落ち着いて、保育士の指示通りの行動を速やかにしています。保育士から今日の訓練についての話があり、公園に移動します。道を渡る時は全員で「右、左、前、右」と確認し、手をあげて渡ります。

公園には保育園の全クラスが集合しています。全員に防犯訓練の説明があり、「怖い人が来たから集まれ」の合図を、大きい声か小さい声か笛かの、どれかで知らせるまで遊ぶように言われます。公園中に散らばって遊んでいた子どもたちが、保育士の「集まれ」の声に、すぐ集合しました。日ごろの訓練の効果が見て取れます。全員で近所の自治会館前に避難し、保育士が不審者についての話を聞かせてすべての訓練が終了しました。

他の公園に移動して、いつもの外遊びの時間です。かけっこ、鬼ごっこ、ブランコなどで、保育士と一緒にみんなで走り回ります。子どもたちはみんな先生が大好きで、帰り道、誰が保育士と手をつなぐか、じゃんけんで決めるほどです。

園に帰ると手洗い、うがいをして給食を待ちます。保育士が料理をよそって、給食当番3人が配ります。「お食事の歌」を、保育士のキーボードに合わせて大きな声で歌い、「いただきます」のあいさつから食事が始まりました。

## 4 歳児クラス

朝の時間、3・4・5 歳児が、一緒に遊んでいます。自分の粘土で何かを作っている子どもたち、広告のちらしで折り紙をする子どもたち、好きな絵本を出して読む子どもたち、みんな熱心に取り組んでいます。子どもたちの好きな遊びは、ままごと、折り紙、ドラクエ、ポケモンなどと答えていました。

公園への散歩は二人ずつ手をつないで歩きます。道を横断する時は、くちチャック(おしゃべりやめて)手をあげて、の約束をみんな守って行きます。公園では、泥んこでケーキ作り・ボール遊び・かけっこ・

小枝を集めて焚き火のつもり、など思い思いに遊んでいます。

全員でする遊びを何にするか、みんなで相談をしています。「ドンじゃんけん」と「鬼ごっこ」のどちらで遊ぶか相談の結果、多数決で「ドンじゃんけん」に決まりました。

給食の時間、給食当番3人が保育士と一緒に食事の準備をします。子どもが盛り付けを出来そうなものは子どもに任せ、難しそうなものは保育士が盛り付けて、子どもたちが配ります。時間がかかりますが、ほかの子どもたちも着席して待っています。あいさつをして食事が始まりました。お代りをする子どももたくさんいますが、食べきれない子どももいます。食の細い子どもに無理強いすることはなく、自分の意志で、食べるか残すかを決めるように話しています。

## 5 歳児クラス

朝の自由遊びをしています。数人の友だちで遊ぶ子ども、一人で遊ぶ子ども、床に腹ばいで本を読む子ども、机に向かい製作をする子ども、それぞれが思い思いに自分の遊びに没頭しています。1冊の本を3人で、声を出して読んでいるグループもいます。読む順番決めをする話し合いが始まりましたが、けんかではなく、時間をかけて3人で話し合って決定しています。保育室内の棚には絵本も数多くあります。園児一人ずつ専用の自由画帳と、粘土などもあり、子どもたちは自分で「したいこと」を見つけています。

給食の時間は給食当番の3人が食事の準備をします。当番は、白衣に白キャップ、マスクを着けています。3人の内、1人が配る、2人がよそう役目ですが、この役割分担も子どもたち3人で決めていきます。最初に保育士が、多い人はこれくらい、少な目さんはこれくらいと、盛り付けの量を教えます。子どもたちは当番の仕事を、責任感を持って行っていました。

食事の場にふさわしい、ほど良い大きさの声で、楽しくおしゃべりをしながら食事をしています。かじったパンが動物の形に似ていることを友だちに見せたり、自転車に乗れる話をしたり、4月からの小学校の話をしたりしています。机の下で足と足をくっつけ合いながら話す子どもたちもいます。くつろいだ、気持ちのよい時間が流れていました。

## まとめ

子どもたちは乳児の時から、自分の思いを言葉に出して相手に伝えることを教えられています。乳児の時は、ただ伝えるだけですが、成長とともに相手の言葉を理解し、相手の意見を聞くことができるようになり、意見や思いの違いを話し合って解決できるまでに育っています。こうした発達の過程が0歳から5歳へとはっきり確認できる保育が行われていることから、子どもたちと保育士の信頼関係と保育士間の連携がうかがえます。

## 事業者コメント

当保育園は、平成 13 年 4 月に横浜保育室の認定を受け開園いたしました。

その後、平成 15 年 4 月に増床して 3 歳以上児の保育を開始し、平成 16 年 11 月に認可保育園へと移行しました。

当保育園は、開園から現在に至るまで、笑顔の絶えない家庭的な雰囲気の中で、大切なお子様をお預かりし、保護者様とのコミュニケーションを大切にすることを基本理念・方針として保育してまいりました。そして、「よく食べ、よく遊び、よく寝る」をキーワードに、外遊びを中心とした保育を日々実践しています。

第三者評価は以前も受審していますが、今回受審することで、あらためて現在実践する保育を職員全員で見つめる良い機会となりました。

評価はまず職員全員で自己評価を行いました。その後各クラスで、自己評価を基に話し合いを行いました。職員全員が保育について正面から向き合うことができました。

職員同士で話し合いを重ねたことで、より職員間の意識の統一がなされ、保護者アンケートに記載されていたことを含めて今後も子ども達のためによりよい保育を目指して実践していきたいと思います。

当保育園は、相鉄グループ会社である相鉄アメニティライフ（株）が運営しています。相鉄グループの経営理念である沿線価値の向上を具現化すべく、地域に求められる良質な保育サービスを提供してまいりました。今後も、相鉄グループの持つ様々な経営資源と連携しつつ、保育園として地域交流や子育て支援など地域社会に果たす役割を検証し、実践してまいります。

最後に第三者評価を実施していただいた市民セクターよこはまの評価調査員の方々に、何度も保育園に足を運んでいただき、様々な視点での助言をいただいたことに感謝し、またお忙しい中アンケートにご協力いただいた保護者の皆様にお礼申し上げます。

そうてつ保育園 GENKIDS 緑園都市  
施設長 吉岡真由美

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

---

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>

---